

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0064	自治基本条例推進経費					01	02	01	06	121	52
	事業名	0064	自治基本条例推進経費	所属	040100	企画財政部企画課 企画調整係	連絡先(記入者)		風隼 徳彰 22 - 9620			

概要	事業概要	平成24年度に行った伊賀市自治基本条例の一部改正の内容を含めた条例の周知・啓発を行う。また、合併後10年に向けて条例の内容を再点検し、時勢にあった条例とするため、市民で構成する伊賀市自治基本条例推進会議を開催し、条例改正案の検討を行う。						事業期間							
								平成	16	年度	～	平成	年度		
	根拠法令・要綱等	伊賀市自治基本条例・伊賀市自治基本条例推進会議条例			審議会・委員会等		伊賀市自治基本条例推進会議								
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号		1				
	対象(誰を、何を)	市民、市、議会、各種団体			※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
	活動指標	回	目標 3.0 実績 2.0	目標 3.0 実績 9.0	5.0	5.0	条例改正に合わせ、監督職以上の職員を対象に研修会を開催。		

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。										
	項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)		
	[収入]	使用料・手数料									
		国費(補助率)									
		県費(補助率)									
		地方債									
		その他									
		合計(A)									0
	[支出]	事業費									
		報酬	36	0	336	336		336	336	H24条例研修会講師謝礼100、冊子印刷 H25条例推進会議4回開催予定	
	報償費		100			100					
	旅費			19	19		19	19			
	消耗品費	155	98	80	80	98	80	80			
	食糧費	1		6	6		6	6			
	印刷製本費		1,124			1,124					
	その他事務経費										
	小計(B)	192	1,322	441	441	1,322	441	441	特記事項記入欄(有資格者の状況等)		
	人件費	正規職員		人数	1.0人	1.0人	0.5人	0.5人	1.0人	0.5人	0.5人
		臨時・嘱託・再雇用職員		人数	人	人	人	人	人	人	人
		小計(C)		人数	5,682	5,777	2,889	2,889	5,777	2,889	2,889
	合計(D=B+C)	5,874	7,099	3,330	3,330	7,099	3,330	3,330	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)		
[収支]	一般財源充当額(D-A)	5,874	7,099	3,330	3,330	7,099	3,330	3,330			
	(うち繰越金)										
	※前年度比	—	1,225	△ 3,770	0	3,770	△ 3,770	0			
	対象者あたり一般財源充当額										

事後評価	必要性	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業													
	有効性	※廃止したときの影響			達成度				※未達成事項記入欄			効率性		※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)	
		まちづくりの基本方針や自治しくみについて定め、推進していく事業であるため、市民と共に進めるまちづくりが不可能となる。			(概ね)順調							制度として一定の方向性も定まった事から、条例内容を鑑み運用を主に行う担当課での所管が望ましい。			
	関与の妥当性					協働の状況など		条例改正に際して、住民自治協議会への説明や意見聴取、自治基本条例推進会議委員を市民で構成するなど、市民や地域団体との協働により実施している。							
	実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)		負担金・補助金・交付金		委託・指定管理(非公募・随意)		○		直接実施(契約・交付事務を除く)		※委託内容及び委託先の存在			
	昨年度記載した改善策	市民等へ自治基本条例の普及を更に進める必要がある。また、今回の条例改正後、合併後10年(平成27年度)を踏まえ、次回の条例改正に向けての研究、議論等を始める必要がある。				左記改善策への取組状況		【状況】 【詳細】		計画のとおり進んでいない。 市民及び職員への周知・啓発については、計画通り実施しているが、次回改正に向けての自治基本条例推進会議の設置に至っていない。					
	現時点における課題及び課題に対する改善策	自治基本条例の認知度が低く、認知度にも地域差があるため、広報等での周知や出前講座などにより市民等への更なる周知に努める必要がある。													
	今後の方向性	担当課長氏名		藤山善之		方向性		手法改善		理由 本条例は、合併協議会の所管事務であったことから、合併後当課で引き継いだ経緯がある。合併後初回となる改正を終え、制度として一定の方向性も定まった事から、条例内容を鑑み運用を主に行う担当課での所管が望ましい。					

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0065	地域振興事務経費					01	02	01	06	122	01
	事業名	0065	地域振興事務経費	所属	040100	企画財政部企画課 企画調整係	連絡先(記入者)			風隼 徳彰 22 - 9620		
基本施策	61	市内外から多様な主体を受け入れる、開かれたまちをつくる										

概要	事業概要	地域振興に関する事業に要する事務経費。 地域振興基金、ふるさと創生基金、伊賀市振興基金などの積立を行う。				事業期間					
						平成	16	年度	～	平成	年度
	根拠法令・要綱等	伊賀市振興基金の設置、管理及び処分に関する条例				審議会・委員会等					
	補助金支出	<input type="checkbox"/> 無	※支出“有”の場合要綱を記入				分掌事務番号				
						8	10				
	対象(誰を、何を)	市内全域、市民				※対象件数					
成果(どうする)	市民が地域に誇りを持ち、いきいきと暮らせる地域づくりが促進される。										
H24実施内容	総合計画、市歌CD、名刺台紙の販売 伊賀市振興基金、地域振興基金、ふるさと創生基金への積立 コミュニティ助成の周知および事務取扱(予算化については各担当で行う)										

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明
			H23	H24	H25	H26	
	活動指標	コミュニティ助成採択件数	件	目標 5.0 実績 7.0	目標 5.0 実績 7.0	5.0	5.0
成果指標	伊賀市振興基金、地域振興基金、ふるさと創生基金残高	百万円	目標 実績 2,803.0	目標 実績 2,738.0			

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他	25,875		20,704	20,704	20,704	20,704	20,704		
	合計(A)	25,875	0	20,704	20,704	20,704	20,704	20,704	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	事業費	旅費			8	8	8	8	8	
		消耗品費		208	210	210	210	210	210	
		燃料費		18	32	32	32	32	32	
		委託料		1,050						
		使用料及び賃借料			3	3	3	3	3	
		備品購入費		63						
		積立金	25,849	525,196	20,677	20,677	20,677	20,677	20,677	
			その他事務経費	237						
	小計(B)	26,086	526,535	20,930	20,930	20,930	20,930	20,930	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
[人件費]	人件費	正規職員	人数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	
		人件費	568	578	578	578	578	578	578	
		臨時・嘱託・再雇用職員	人数							
		人件費								
	小計(C)	568	578	578	578	578	578	578		
	合計(D=(B+C))	26,654	527,113	21,508	21,508	21,508	21,508	21,508	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	779	527,113	804	804	804	804	804		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	526,334	△ 526,309	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

事後評価	必要性	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	大半が基金造成		(概ね)順調	
	効率性	※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)		
	関与の妥当性	協働の状況など		
	実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
		<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	
	昨年度記載した改善策	合併特例債(起債)による基金造成が大半を占めるため、他事業によっては造成できない年度がある。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。
	現時点における課題及び課題に対する改善策	合併特例債の活用期限が5年間の延長が可能となったため、平成26年度以降についても造成計画を検討する必要がある。		
	今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	藤山善之	手法改善	合併特例債の活用期限が5年間延長になったことから、プライマリーバランスに配慮し基金造成を実施。コミュニティ助成事業については、宝くじを原資とした有利な事業であるため、積極的な活用に取り組む。なお、平成25年度から一般コミュニティ助成事業については、申請対象となる住民自治協議会や自治会等の所管課である、市民活動推進課で取りまとめ等を実施する。	

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細目
	0066	地域振興事務経費					01	02	01	06	122	01
	事業名	0066	地域振興事務経費	所属	600100	島ヶ原支所振興課	連絡先(記入者) 谷口順一 59 - 2053					
基本施策	61	市内外から多様な主体を受け入れる、開かれたまちをつくる										

概要	事業概要	魅力ある夏まつりとするため、しまがはら夏祭り実行委員会へ補助金を交付し、支援する。また、必要がある場合には、企画運営について、条件付けを行う。						事業期間			
								平成 23 年度	～ 平成 29 年度		
	根拠法令・要綱等	伊賀市補助金等交付規則 支所関係補助金等交付要綱				審議会・委員会等		しまがはら夏まつり実行委員会			
	補助金支出	有 <input type="checkbox"/> ※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号			
	対象(誰を、何を)	市民・来場者				※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
					人	4,000	4,100	4,500	4,500		
成果(どうする)	夏まつりを開催することにより、子どもから高齢者まで交流する機会ができ、世代間、住民相互の交流が出来る。ふれあいの里施設を会場とすることで観光施設をPRする。										
H24実施内容	1)しまがはら夏まつり実行委員会に開催補助金を交付し支援した。 ・平成24年8月第1土曜日に開催した。 ・「島ヶ原地域まちづくり協議会」が中心となり住民主体で実行委員会を組織し運営を行った。 ・ステージ・販売ブースでは、地元島ヶ原や伊賀市内からの団体が出演・出店をした。 ・協賛金で花火の打ち上げを行った。										

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
			目標	実績	目標	実績			
活動指標	企画会議・実行委員会会議	回	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0		
成果指標	しまがはら夏まつり来場者数	人	4,000.0	4,000.0	4,500.0	4,500.0	4,500.0	来場者が増やることが、地域振興の状況と観光PRを示す指標となる	

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
		[収入]	使用料・手数料							
	国費 (補助率)									
	県費 (補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	事業費									
	しまがはら夏まつり開催補助金	2,150	2,150	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	
	その他事務経費									
	小計(B)	2,150	2,150	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	人件費									
	正規職員	人数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	
		人件費	568	578	578	578	578	578	578	
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数								
		人件費								
	小計(C)	568	578	578	578	578	578	578	578	
	合計(D=(B+C))	2,718	2,728	2,628	2,628	2,628	2,628	2,628	2,628	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	2,718	2,728	2,628	2,628	2,628	2,628	2,628	2,628	
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	10	△ 100	0	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
世代間、住民相互の交流が希薄となり、将来まちづくりの担い手となることが期待される若い人の育成に支障がでるとともに、観光施設のPRができない。	(概ね) 順調	企画、運営会議において、参加者の増を目指し、創意工夫を行う。	活動団体の自主性、創造性は醸造されつつある。経費削減のため、なるべく手づくりのまつりになるようさらなる工夫が必要。
関与の妥当性	協働の状況など		実施団体である実行委員会は、まちづくり協議会を中心として組織され、世代を越えて企画運営がされていることから、将来のまちづくりの担い手となる若い人の育成にも役立っている。
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	委託・指定管理(非公募・随意)	直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	温泉施設で開催しているため、地域住民は勿論のこと、観光客を誘導し、来場者数が増加するよう検討する。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 目標来場者数に達しなかったことから、企画、運営委員会にて、更なる工夫を行うこととしている。
現時点における課題及び課題に対する改善策	多くの市民等が参加したくなるような、魅力ある夏まつりにするよう内容をさらに工夫する必要がある。また花火打ち上げは協賛金にてまかなわれているが、運営面においても協賛金の獲得に努めるなどし、将来的には補助をなくし、市民による自立した夏まつりにする必要がある。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	振興課長 橋本忠大	手法改善	地域の活性化を持続するとともに、観光施設をPRするため現状維持とするが、今後内容面において更なる検討が必要。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0067	地域振興事務経費					01	02	01	06	122	01
	事業名	0067	地域振興事務経費	所属	700100	大山田支所振興課	連絡先(記入者) 中井 芳子 47 - 1150					
基本施策	61	市内外から多様な主体を受け入れる、開かれたまちをつくる										

概要	事業概要	地域の賑わいや活性化を図るためのイベントとして大山田ふるさと夏まつりを開催。そのイベントを主催している大山田ふるさと夏まつり実行委員会に助成を行う。						事業期間					
								平成	16	年度	～	平成	年度
	根拠法令・要綱等	支所関係補助金等交付要綱				審議会・委員会等							
	補助金支出	<input type="checkbox"/> 有	※支出“有”の場合要綱を記入 支所関係補助金等交付要綱						分掌事務番号				
	対象(誰を、何を)	大山田支所管内及び周辺地域等の住民				※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値		
	成果(どうする)	大山田ふるさと夏まつり実行委員会が主催する事業を開催することにより、大山田地域の活性化及び伝統や文化(くれは太鼓、ふるさと音頭)が伝承される。また、お盆に帰省する人々や地域の人々の交流の場ができる。											
	H24実施内容	第35回大山田ふるさと夏まつり(S53から開催)を開催、実行委員会への助成を行った。 会場:大山田せせらぎ運動公園 主催:大山田ふるさと夏まつり実行委員会 日時:平成24年8月15日 内容:お祭り太鼓、ふるさと音頭、園児おどり、各種団体出店、創作花火等 来場者:約 5,000人											

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
活動指標	実行委員会参画団体	団体	目標	17.0	目標	17.0	17.0	17.0	実行委員会への参画団体数により地域への関わりや認知度を見ることができる。
			実績	17.0	実績	17.0			
成果指標	来場者数	人	目標	6,000.0	目標	6,000.0	6,000.0	6,000.0	来場者数により事業のPRの成否を見ることができる
			実績	6,000.0	実績	5,000.0			

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									特記事項記入欄(積算基礎等)
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
合計(A)		0	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
[支出]	大山田ふるさと夏まつり助成金	1,880	1,880	1,880	1,880	1,880	1,880	1,880	1,880	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
	事業費									
	その他事務経費									
	小計(B)	1,880	1,880	1,880	1,880	1,880	1,880	1,880	1,880	
	人件費									
[収支]	正規職員	人数	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人	人	
	人件費	人件費	568	578	578	578	578	578	578	
	小計(C)	人件費	568	578	578	578	578	578	578	
	合計(D=(B+C))	人件費	2,448	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458	
一般財源充当額(D-A)		2,448	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458	2,458	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
(うち繰越金)										
※前年度比		—	10	0	0	0	0	0	0	
対象者あたり一般財源充当額										

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
企業や団体等からの寄付金と市からの補助金で事業を実施しているが、補助金が廃止されると事業経費が不足し夏まつりの開催が困難となり事業目的が達成できなくなる。	(概ね)順調		
関与の妥当性		協働の状況など	地域住民や地元企業で構成された実行委員会で、事業計画から運営まで行っているが、地域の活性化を目指すイベントであるため担当課の協力、支援を行っている。
実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	実行委員会の参加構成団体をより広範にするとともに住民自治協議会を中心に、それぞれが分担して企業協賛の依頼を行う。また、収入縮小の中でも例年同様の成果が得られるよう内容を工夫し、平成24年度も夏まつりを開催する。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 実行委員会の構成団体数に変わりはないが、実行委員会を中心に実施することができた。また、事業経費を削減するため、チラシは手作りで作成するなど支出額の削減に努めた。
現時点における課題及び課題に対する改善策	打ち上げ花火はすべて住民及び企業からの寄付金で賄っているが、寄付額が伸び悩んでいることや平成23年度から市補助金が減額となっているため、継続して開催していくには一層工夫が求められる。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	西口敏之	現状維持	大山田地域の各種団体で構成される実行委員会による主体的な開催を支援し、地域住民の参画により地域の活性化を図っていく。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0068	地域振興事務経費					01	02	01	06	122	01
	事業名	0068	地域振興事務経費	所属	750100	青山支所振興課 総務振興係	連絡先(記入者)		大岡 宏 52 - 1112			

概要	事業概要	青山夏まつり実行委員会(地域づくりに寄与する関係機関・団体組織)に補助金を支出し、青山地域の活力あるまちづくりのため青山夏まつりを実施している。						事業期間					
								平成	16	年度	～	平成	年度
	根拠法令・要綱等	支所関係補助金等交付要綱			審議会・委員会等			-					
	補助金支出	<input type="checkbox"/>	※支出“有”の場合要綱を記入 支所関係補助金等交付要綱 夏まつり開催補助金						分掌事務番号	15			
	対象(誰を、何を)	青山支所管内及び周辺地域の住民			※対象件数	人	H23実績	3,000	H24実績	3,000	H25見込	3,000	H26目標値

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
	活動指標	代表者会議・実行委員会の会議開催	回	目標 4.0 実績 5.0	目標 5.0 実績 5.0	5.0	5.0		

コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。																					
	項目	H23決算額								H24決算額		H25当初額		H26計画額		H27計画額		H28計画額		H29計画額		特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		使用料・手数料																				
	[収入]	国費(補助率)																				
		県費(補助率)																				
		地方債																				
		その他																				
	合計(A)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)
	[支出]	夏まつり開催補助金	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	
		その他事務経費																				
小計(B)		130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	130	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
人件費																						
人件費	正規職員	人数	0.1人	0.2人	0.1人	0.1人	0.1人	0.1人	0.2人	0.1人												
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人												
	人件費		568	1,155	578	578	578	578	1,155	578												
小計(C)	568	1,155	578	578	578	578	578	1,155	578													
合計(D=B+C)	698	1,285	708	708	708	708	708	1,285	708												特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	698	1,285	708	708	708	708	1,285	708													
	(うち繰越金)	0	0	0	0	0	0	0	0													
	※前年度比	—	587	△578	0	0	0	578	△578													
対象者あたり一般財源充当額																						

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
青山地域の最大の夏まつりを廃止することで、地域の活性化が低下し、世代間交流の場が減少する。	(概ね)順調		
関与の妥当性	協働の状況など 地域振興に寄与する関係機関・団体(JA伊賀南部・青山文化サークル連絡協議会・伊賀市商工会青山支部)と協働し事業を実施。		
実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	
昨年度記載した改善策	実行委員会での新企画検討など、今年度内に工夫したい。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 ソーラン踊りのほか、盆踊り、和太鼓演奏などの企画により会場が盛り上がった。
現時点における課題及び課題に対する改善策	実行委員のメンバーが高齢化・固定化しているため、新しい企画の実施がされていない。商工会青年部などの若年層の意見を多く取り入れ実施する。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	牧野 頼悌	現状維持	毎年開催しており、これまで28回を実施している。地域に定着した夏の行事として市民の期待が大きい。